

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

「さいたま市市民意識調査」の中間報告がまとまりました。最終的な報告は年末を予定しておりますが、中間報告では、本市を「住みやすい」と思う市民の方の割合は、86.6%、本市に「住み続けたい」と思う割合は、85.2%となりました。

ここ数年、85%以上の高い水準を維持しており、継続的に高い評価をいただいていることを大変嬉しく感じております。またこの評価は、日頃から市民の皆さん、事業者の皆さんから様々なご協力をいただいている結果でもあります。改めて感謝を申し上げます。さいたま市では、「もっと身近に、もっとしあわせに」をキャッチフレーズとして掲げ、2030年までに本市を「住みやすい」と思う市民の皆さんの割合90%以上を目指しております。引きつづき、市民の皆さん、事業者の皆さんとのつながりや絆を深め、より「住みやすい街」をめざしてまいります。



【プロフィール】
昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
昨年5月の選挙では、過去最多
得票と得票率で当選。共栄大
学客員教授、指定都市市長会
副会長も務める

文教都市に磨きをかける！文科大臣へ要望活動



政令指定都市市長会の要望活動の一貫として、永岡桂子文部科学大臣に要望書を提出しました。

永岡文部科学大臣には、大変丁寧に要望内容へ耳を傾けていただき、また積極的な協力をお約束いただきました。



いじめのない地域社会を目指して



いじめを起こさせない、見逃さない環境づくりについて考える「いじめ防止シンポジウム」を開催しました。「いじめは卑怯な行為であり、決して許されない」という強い信念を持ち、いじめ撲滅に向けた取り組みを推進していかなければなりません。このシンポジウムを通して、参加した皆様が、子供たちの輝く未来のために、それぞれの立場で何ができるのかを考えるきっかけとなることを期待しています。